

# 出雲市下水道事業 下水道使用料改定説明会

令和5年(2023) 11月

出雲市上下水道局

1. 開 会

2. あいさつ

3. 下水道使用料改定について

4. 質 疑

5. 閉 会

出雲市下水道事業

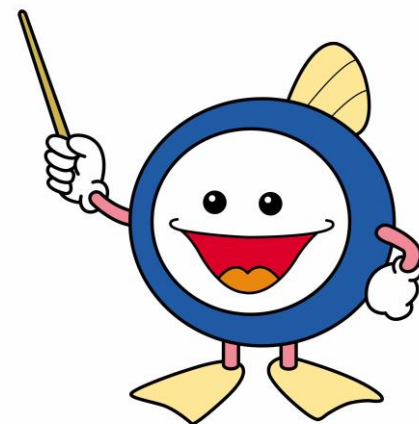
# 下水道使用料改定説明会

令和5年11月

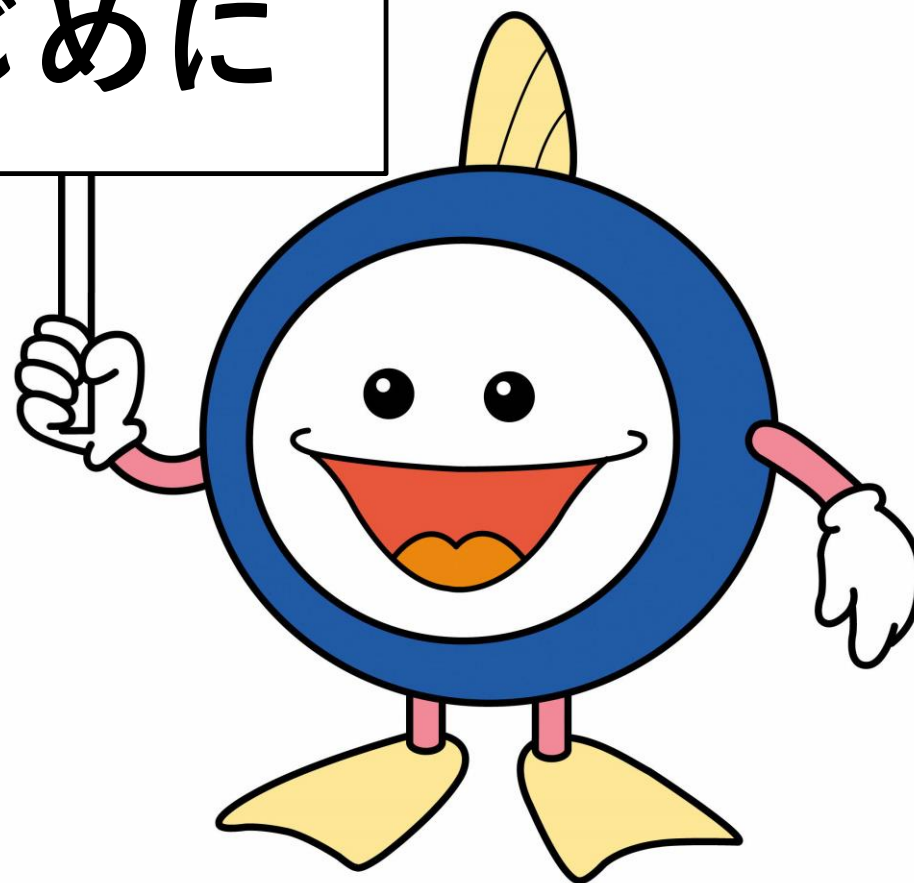
出雲市上下水道局

# 本日お話する内容

1. はじめに
2. 下水道施設の役割
3. 下水道施設の整備状況
4. 経営状況
5. 使用料改定
6. おわりに



# 1. はじめに



# 使用料改定の経緯

- ・ 令和4年7月～

出雲市長から出雲市上下水道料金等審議会へ諮問

7回の審議会を開催し、慎重な審議・検討を実施

※審議会委員は、税理士等の有識者や各種団体からバランスよく選出された12名です。

- ・ 令和5年1月

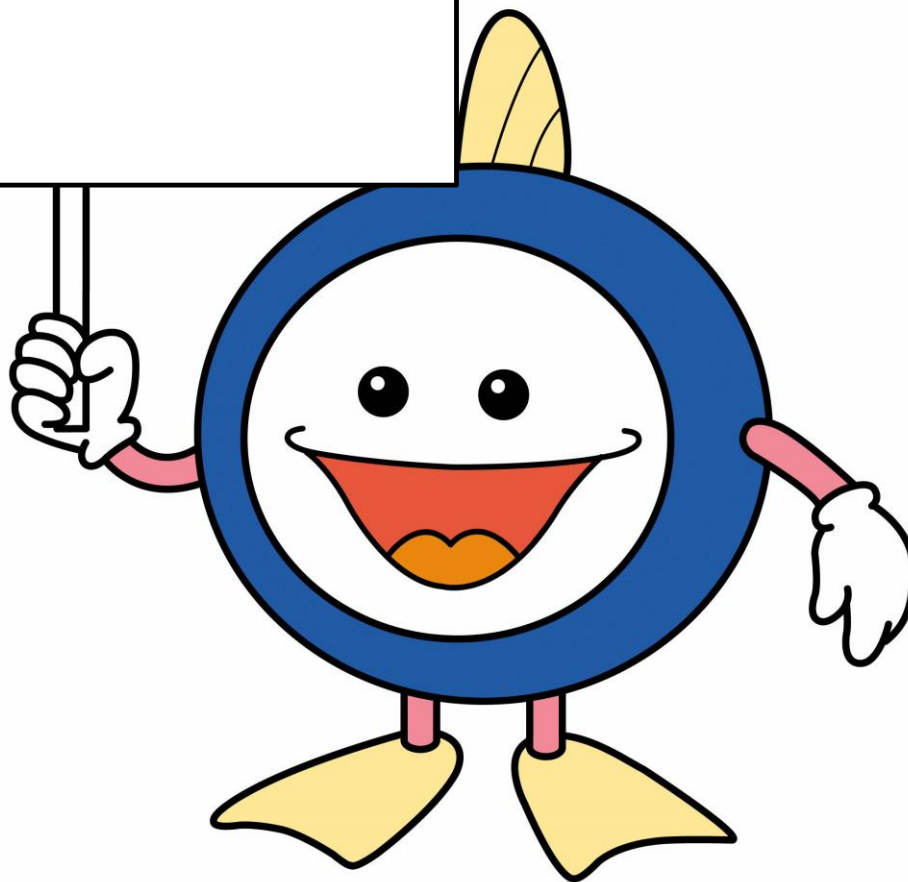
出雲市上下水道料金等審議会から出雲市長へ答申

- ・ 令和5年9月

議会で出雲市公共下水道使用料  
条例等一部改正（使用料改定）  
を可決



## 2. 下水道施設の役割



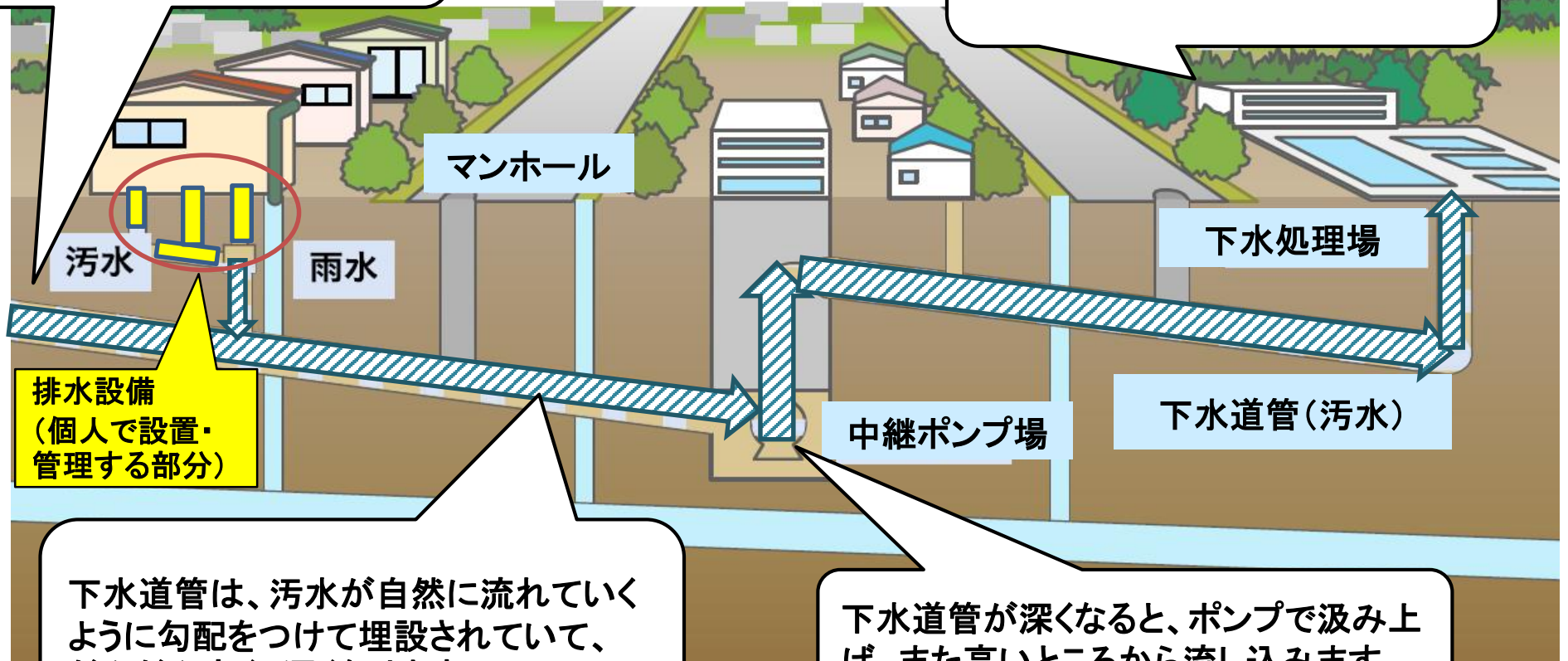
# 下水道施設の役割



家庭や工場からでた汚水は、下水道管を通して、下水処理場へ運ばれます。

家庭から出た汚水は、下水道管へ流れ込みます。

下水処理場に送られた汚水は、さまざまな施設や設備できれいにされます。



排水設備  
(個人で設置・  
管理する部分)

マンホール

汚水

雨水

下水処理場

中継ポンプ場

下水道管(汚水)

下水道管は、汚水が自然に流れていくように勾配をつけて埋設されていて、だんだん太く、深くなります。

下水道管が深くなると、ポンプで汲み上げ、また高いところから流し込みます。

# 島根県宍道湖西部浄化センター(出雲市大社町)



北山

大社文化プレイス  
うらら館

県立浜山公園

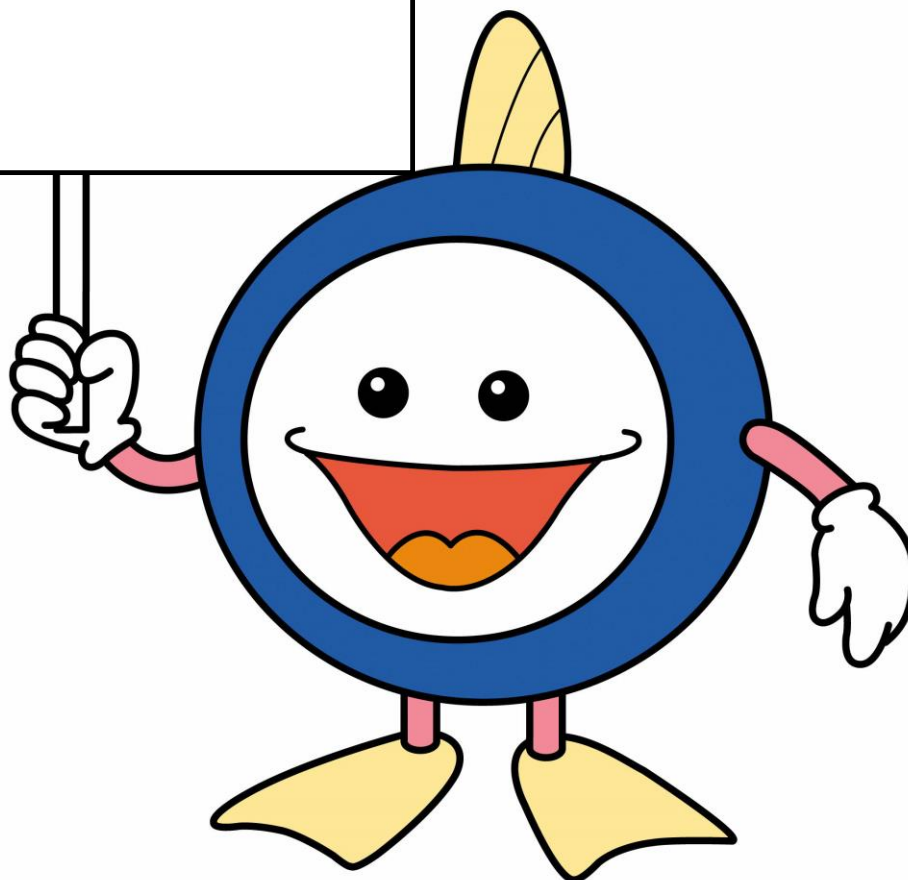
日本海へ放流



# 鳶巣地区農業集落排水処理センター(出雲市西林木町)



# 3. 下水道施設の 整備状況



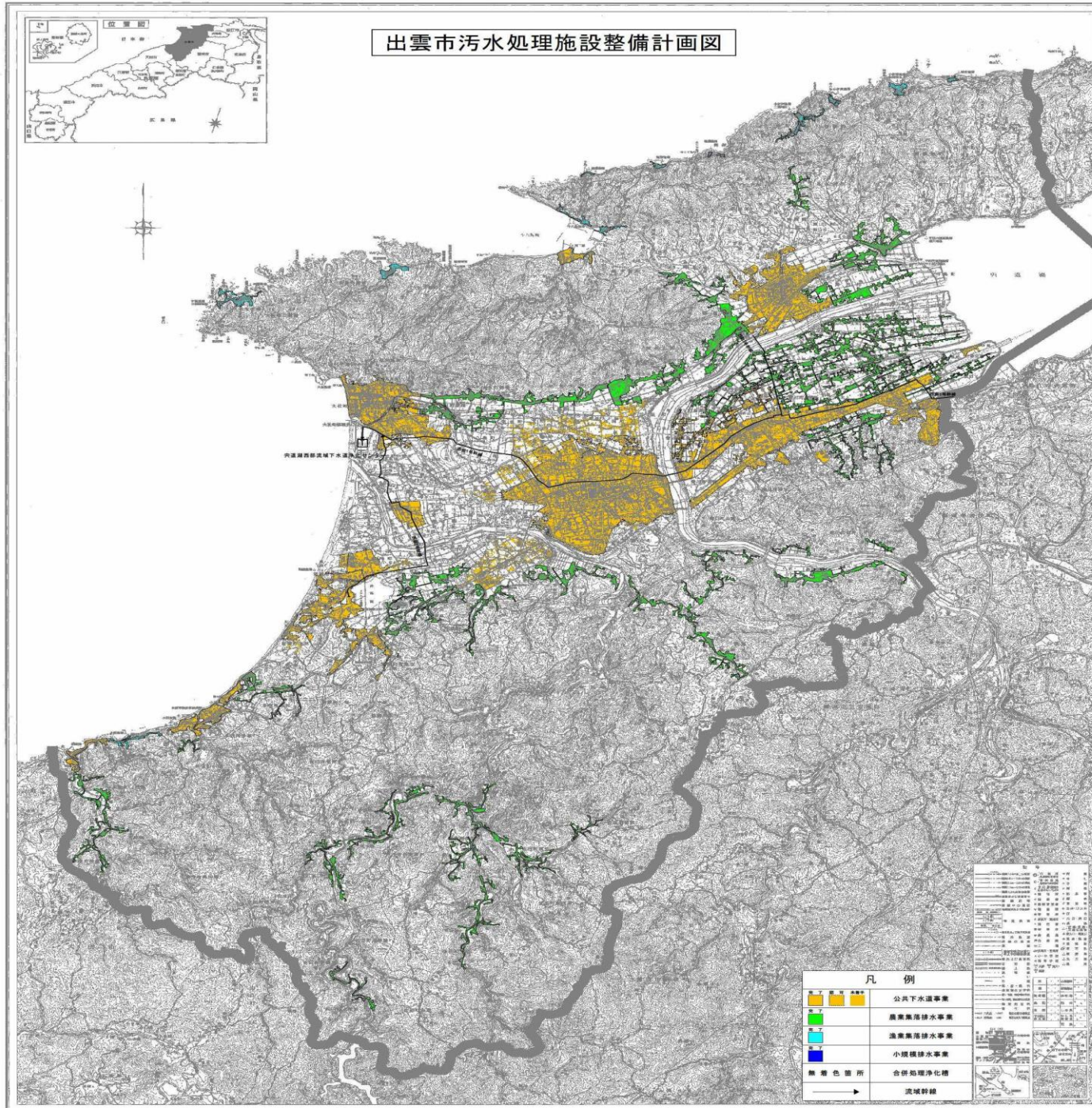
# <現状> 污水处理施設整備 計画図

## 集合処理

- ・公共下水道
- ・特定環境保全公共下水道
- ・農業集落排水
- ・漁業集落排水
- ・小規模集合排水

## 個別処理

- ・浄化槽(個別排水・市設置)
- ・浄化槽(個人設置ほか)



# 出雲地域污水处理施設整備計画図

矢尾日下地区  
(農業集落)

鳶巣地区  
(農業集落)

宍道湖西部流域下水道浄化センター

出雲処理区  
(流域間連  
公共下水道)

凡 例	
	認可 未着手
	公共下水道事業
	農業集落排水事業
	処理場
	無着色箇所
	流域幹線

神西湖東地区  
(農業集落)

宇那手船津地区  
(農業集落)

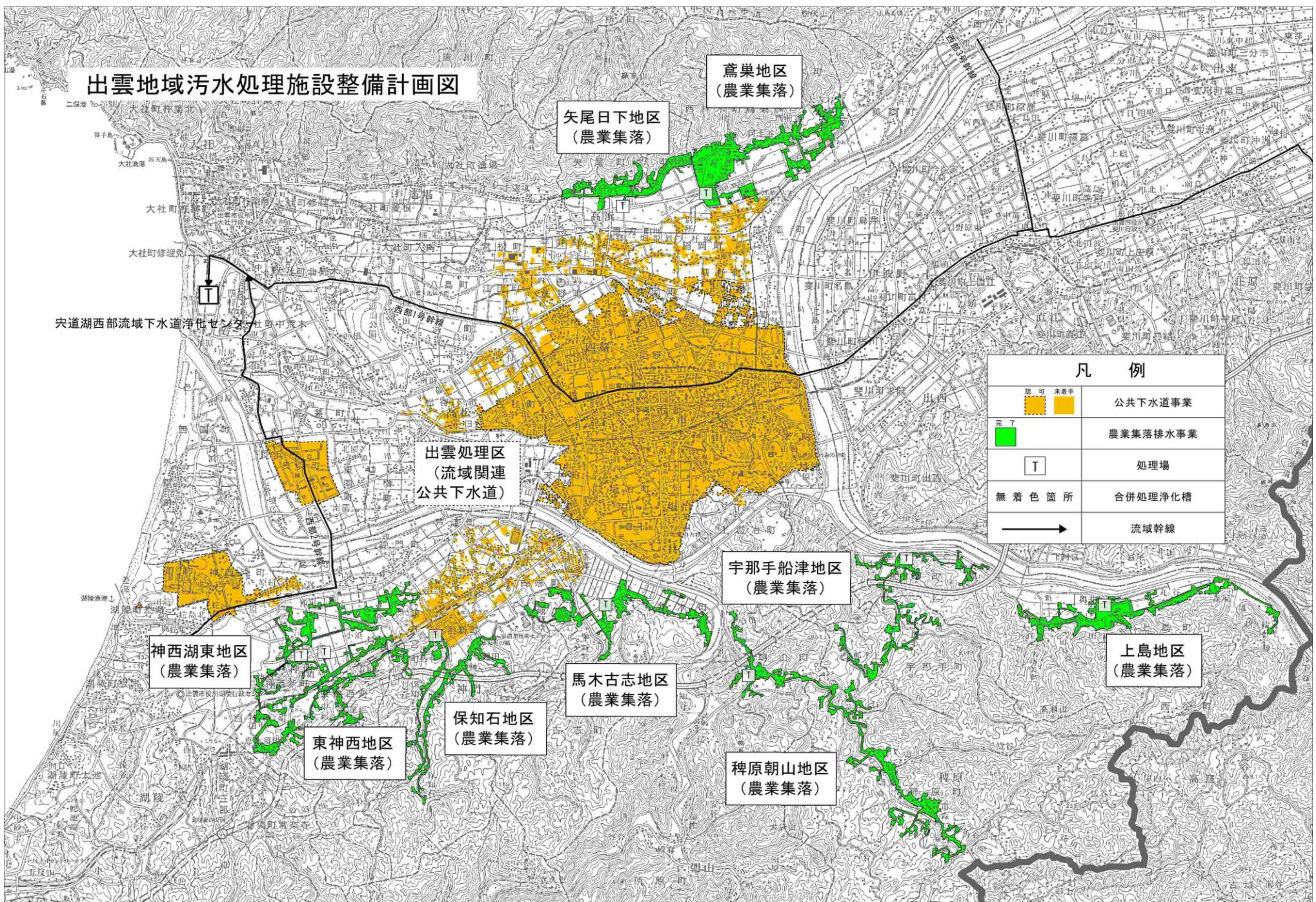
上島地区  
(農業集落)

東神西地区  
(農業集落)

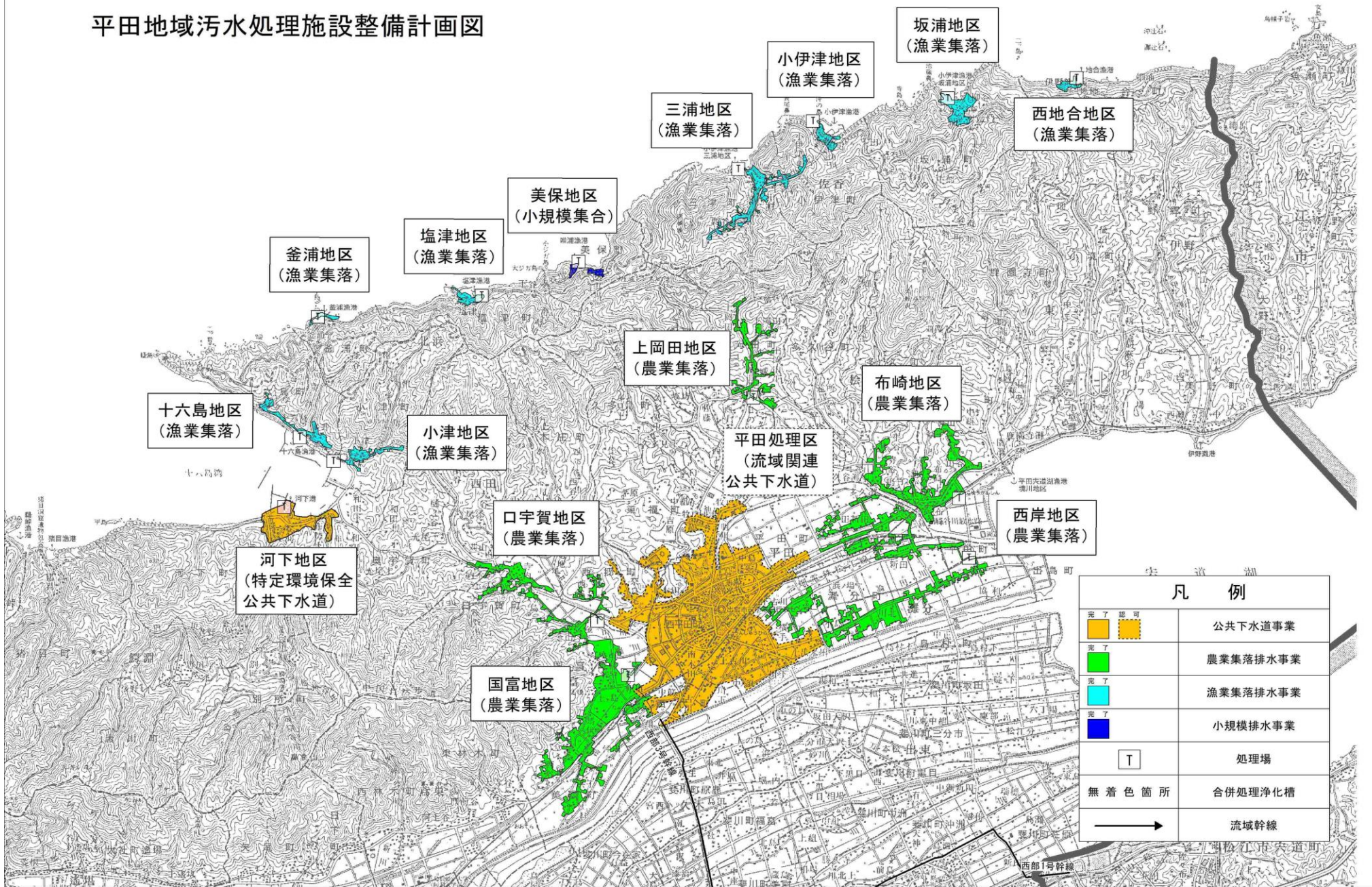
保知石地区  
(農業集落)

馬木古志地区  
(農業集落)

稗原朝山地区  
(農業集落)



# 平地域域污水处理施設整備計画図



十六島地区  
(漁業集落)

河下地区  
(特定環境保全  
公共下水道)

釜浦地区  
(漁業集落)

塩津地区  
(漁業集落)

小津地区  
(漁業集落)

国富地区  
(農業集落)

美保地区  
(小規模集合)

口宇賀地区  
(農業集落)

上岡田地区  
(農業集落)

三浦地区  
(漁業集落)

平田処理区  
(流域関連  
公共下水道)

小伊津地区  
(漁業集落)

布崎地区  
(農業集落)

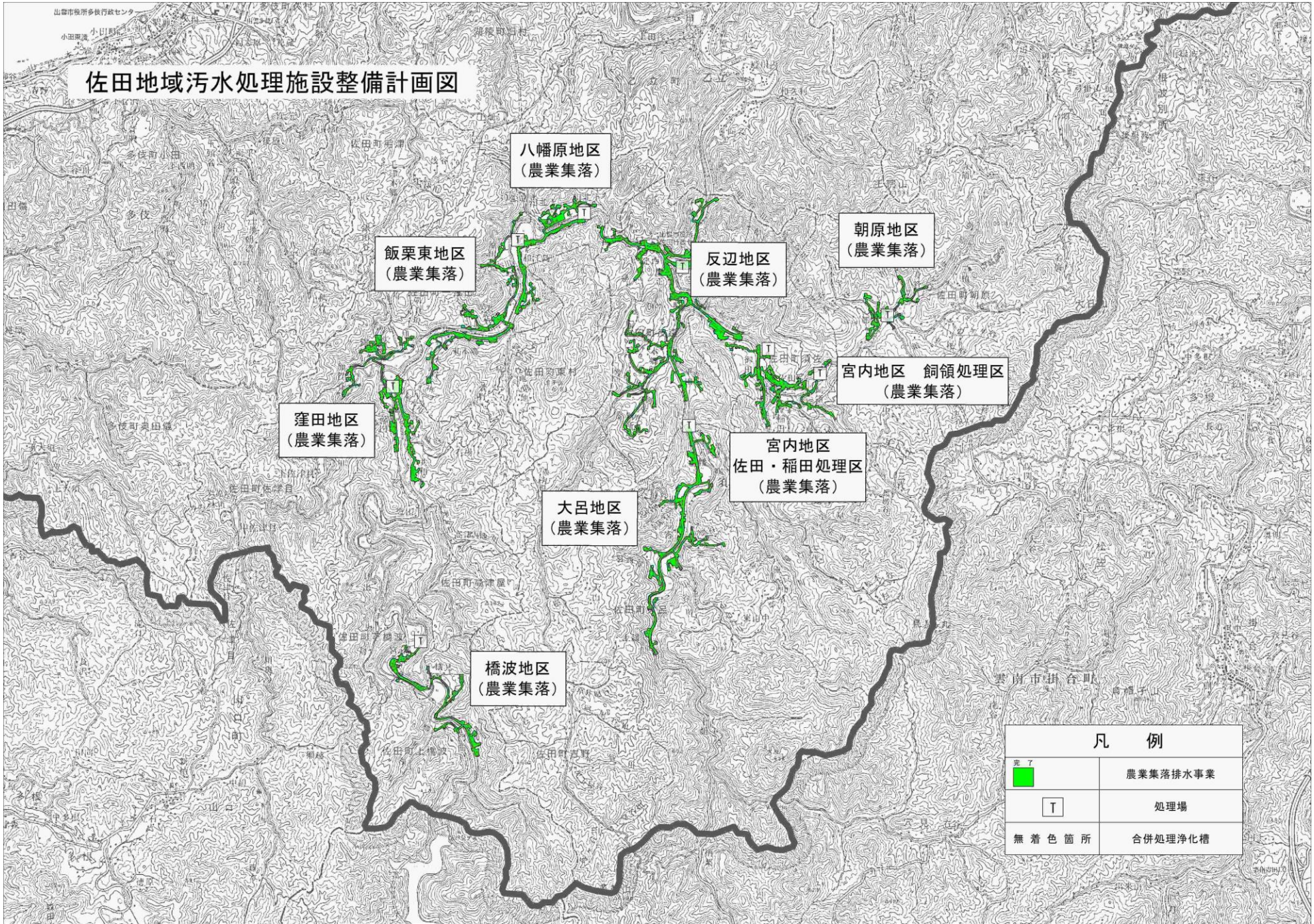
坂浦地区  
(漁業集落)

西地合地区  
(漁業集落)

西岸地区  
(農業集落)

凡 例	
完了 認可 [Orange Box]	公共下水道事業
完了 [Green Box]	農業集落排水事業
完了 [Cyan Box]	漁業集落排水事業
完了 [Blue Box]	小規模排水事業
[T in Box]	処理場
無着色箇所	合併処理浄化槽
[Arrow]	流域幹線

# 佐田地域污水处理施設整備計画図



八幡原地区  
(農業集落)

飯栗東地区  
(農業集落)

窪田地区  
(農業集落)

大呂地区  
(農業集落)

橋波地区  
(農業集落)

反辺地区  
(農業集落)

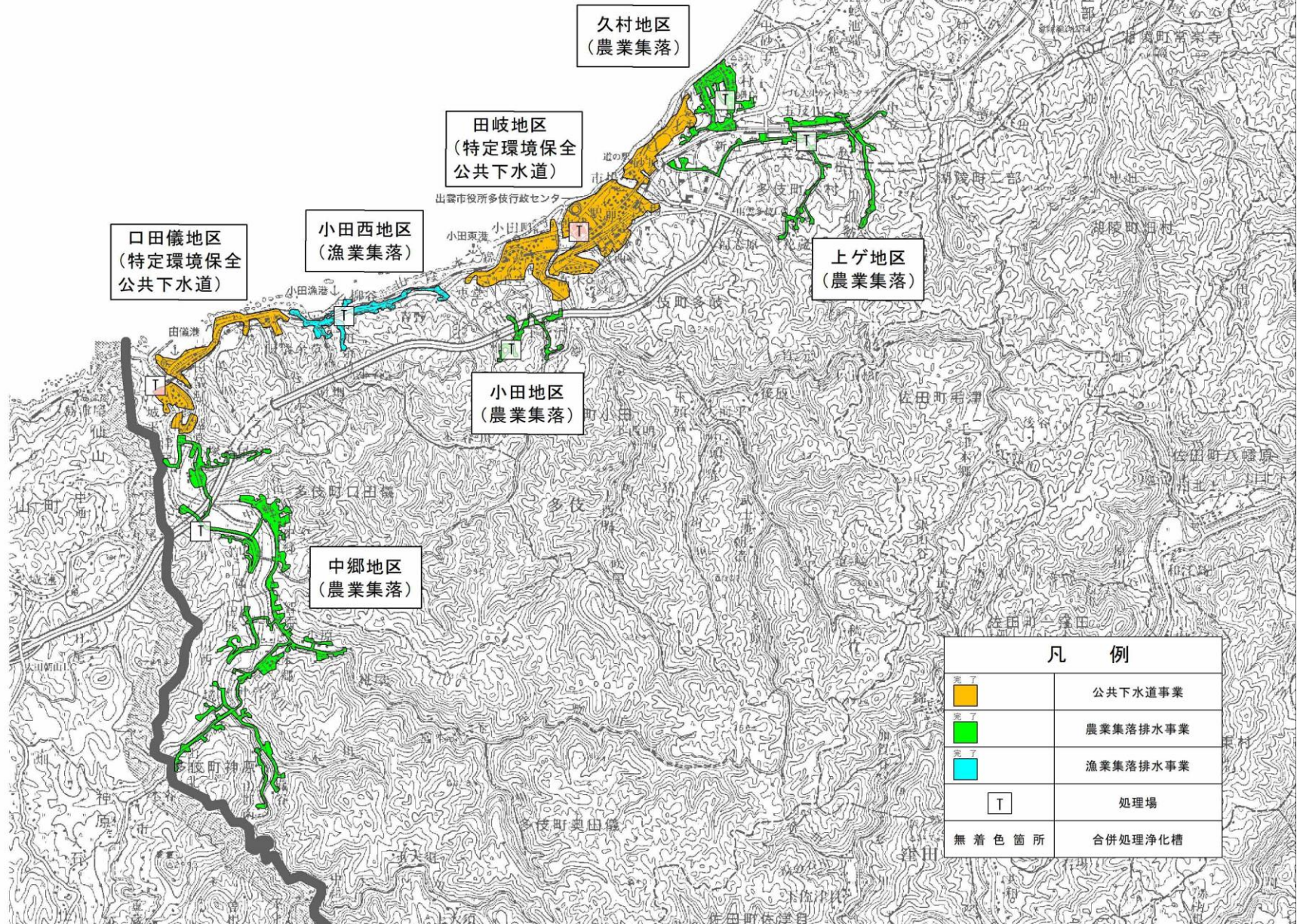
朝原地区  
(農業集落)

宮内地区 飼領処理区  
(農業集落)

宮内地区  
佐田・稲田処理区  
(農業集落)

凡 例	
	農業集落排水事業
	処理場
無着色箇所	合併処理浄化槽

# 多伎地域污水处理施設整備計画図



口田儀地区  
(特定環境保全  
公共下水道)

小田西地区  
(漁業集落)

田岐地区  
(特定環境保全  
公共下水道)

久村地区  
(農業集落)

上ヶ地区  
(農業集落)

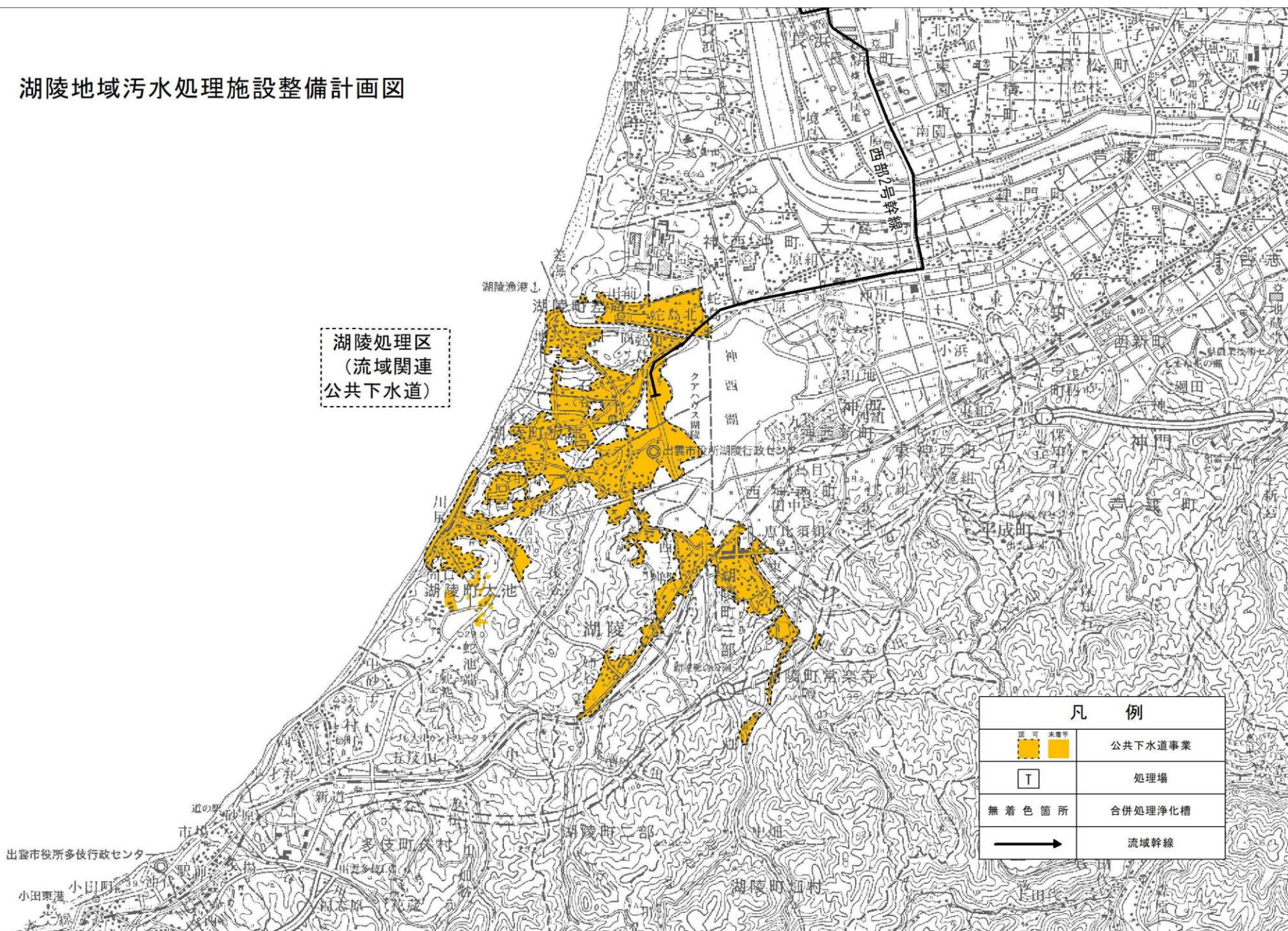
小田地区  
(農業集落)

中郷地区  
(農業集落)

凡 例	
	公共下水道事業
	農業集落排水事業
	漁業集落排水事業
	処理場
	合併処理浄化槽

# 湖陵地域污水处理施設整備計画図

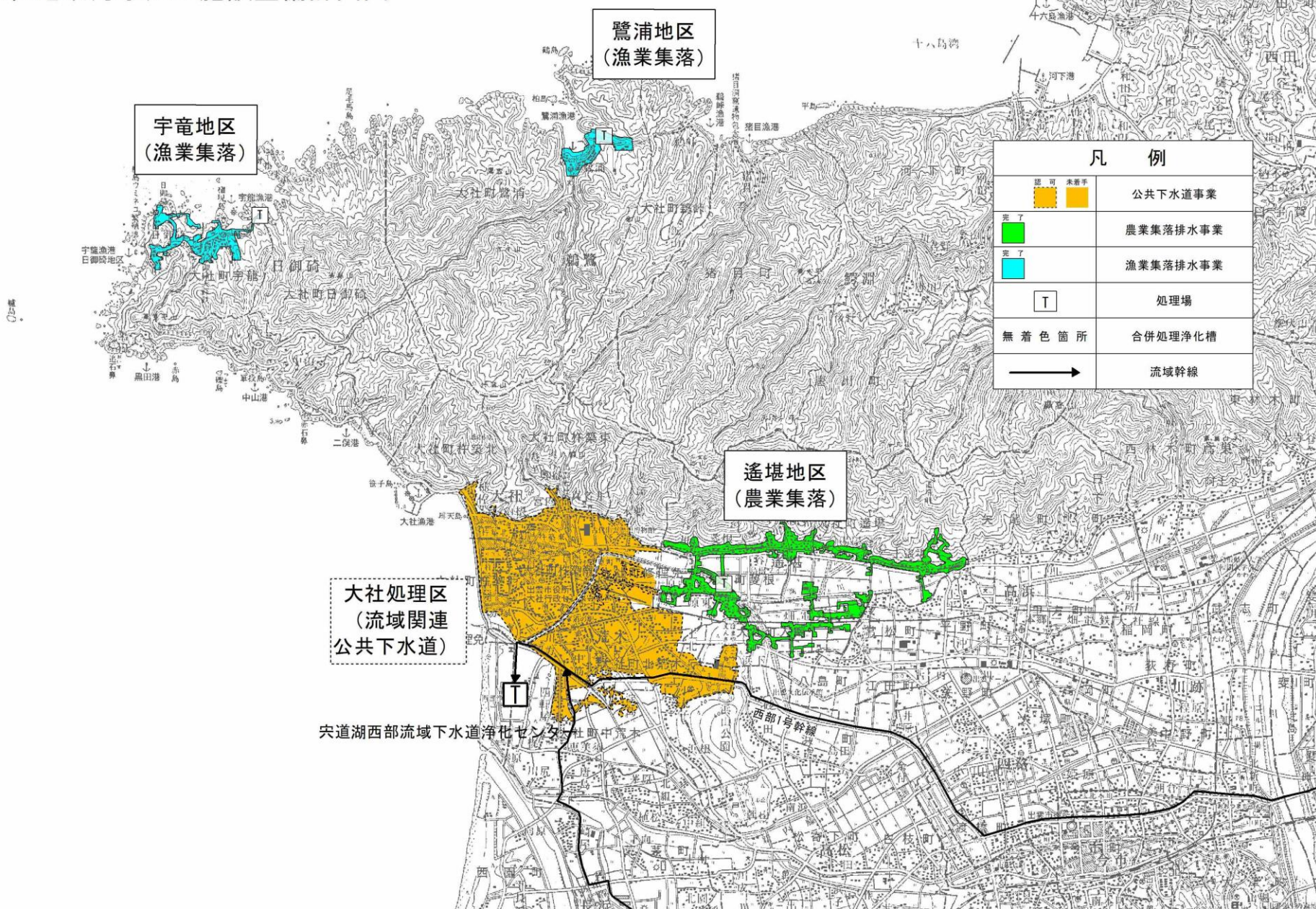
湖陵処理区  
(流域関連  
公共下水道)



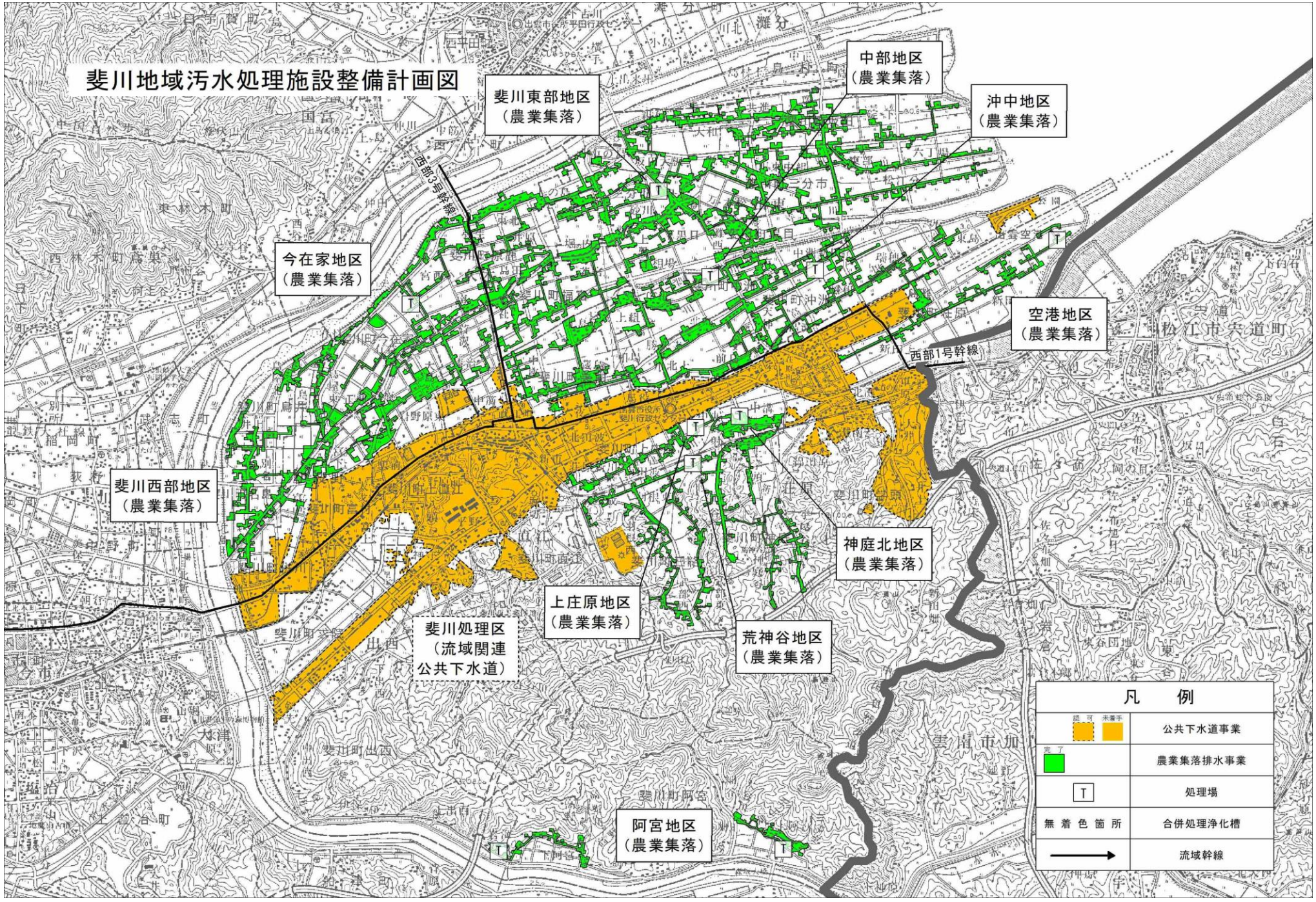
凡 例	
	公共下水道事業
	処理場
	合併処理浄化槽
	流域幹線



# 大社地域污水处理施設整備計画図



# 斐川地域污水处理施設整備計画図



斐川東部地区  
(農業集落)

中部地区  
(農業集落)

沖中地区  
(農業集落)

今在家地区  
(農業集落)

空港地区  
(農業集落)

斐川西部地区  
(農業集落)

神庭北地区  
(農業集落)

斐川処理区  
(流域関連  
公共下水道)

上庄原地区  
(農業集落)

荒神谷地区  
(農業集落)

阿宮地区  
(農業集落)

凡 例	
	公共下水道事業
	農業集落排水事業
	処理場
	合併処理浄化槽
	流域幹線

# 汚水処理人口普及率

整備手法別(令和5年3月31日現在)

出雲市人口 173,136人…①

区分	整備手法	供用人口 ②	普及率 ②/①	水洗化人口 ③	水洗化率 ③/②
出雲市全域		155,404人	89.8%	142,484人	91.7%
集 合 処 理	公共下水道	85,873人	49.6%	75,268人	87.7%
	特定環境保全公共下水道	1,979人	1.1%	1,893人	95.7%
	農業集落排水	27,414人	15.8%	25,452人	92.8%
	漁業集落排水	2,750人	1.6%	2,509人	91.2%
	小規模集合排水	71人	0.04%	61人	85.9%
個 別 処 理	浄化槽 (個別排水・市設置)	3,959人	2.3%	3,943人	99.6%
	浄化槽 (個人設置ほか)	33,358人	19.3%	33,358人	100.0%

(供用人口)汚水処理が可能な区域における人口

(普及率) 汚水処理の整備状況を表す指標

(水洗化人口・水洗化率)

供用人口のうち、実際に水洗トイレ等を設置し、汚水を処理している人口及びその割合

## 【参考】汚水処理の地域別状況

地域	人口 ①	供用人口 ②	地域別普及率 ②／①	水洗化人口 ③	地域別水洗化率 ③／②
出雲	94,694人	80,870人	85.4%	73,740人	91.2%
平田	23,538人	21,983人	93.4%	20,664人	94.0%
佐田	2,841人	2,694人	94.8%	2,644人	98.1%
多伎	3,187人	3,101人	97.3%	2,984人	96.2%
湖陵	5,033人	4,641人	92.2%	4,090人	88.1%
大社	13,994人	12,723人	90.9%	11,070人	87.0%
斐川	29,849人	29,392人	98.5%	27,292人	92.9%
計	173,136人	155,404人	89.8%	142,484人	91.7%

# 【参考】汚水処理の地域別・整備手法別普及率

単位：％

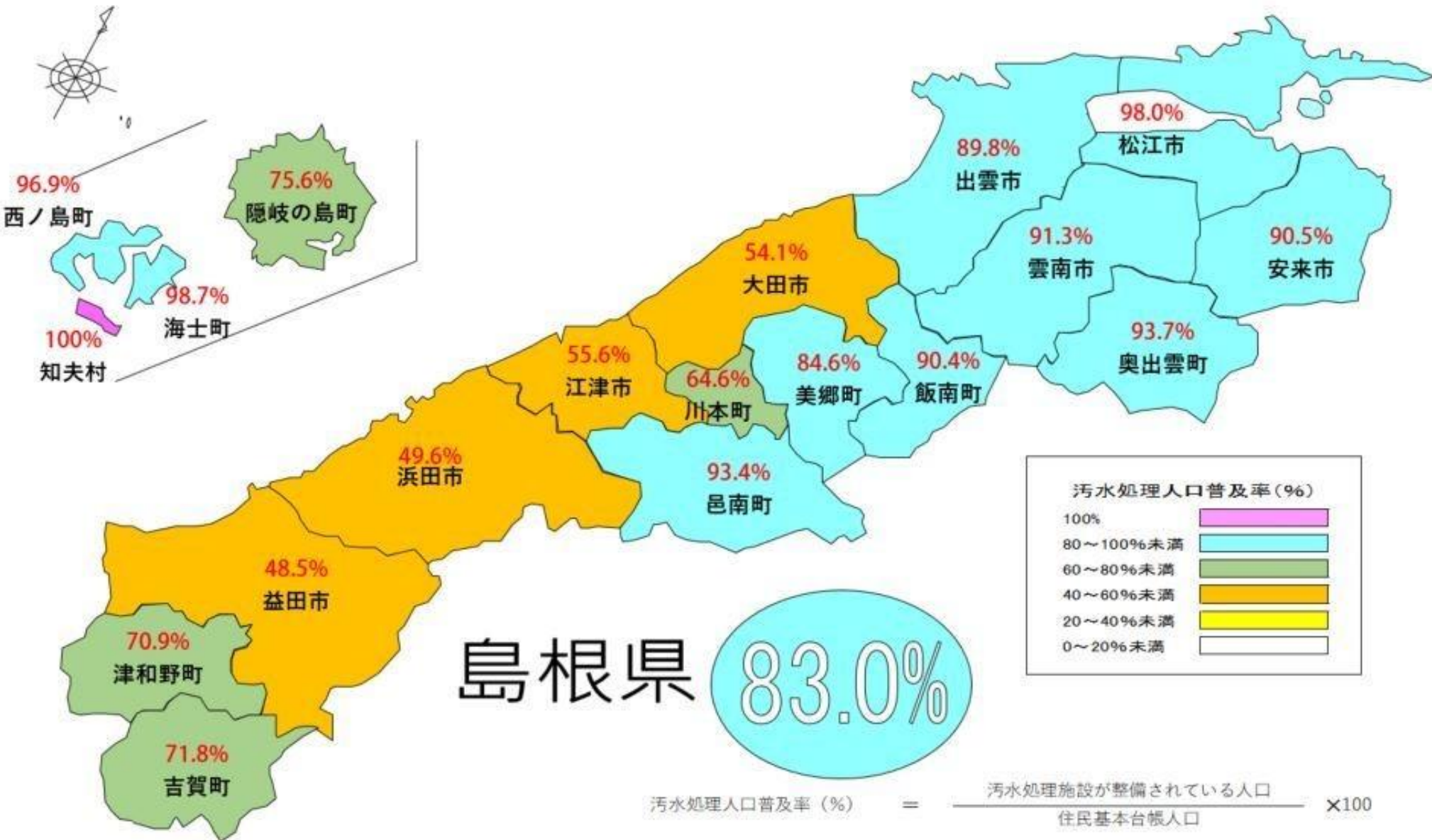
地域	公共	特環	農集	漁集	小規模	浄化槽			コミプラ	地域別普及率
						個別排水	市設置	個人設置		
出雲	49.1	-	7.8	-	-	0.4	0.4	27.6	0.2	85.4
平田	40.1	1.4	19.8	8.6	0.3	-	9.7	13.6	-	93.4
佐田	-	-	69.6	-	-	6.3	18.0	1.0	-	94.8
多伎	-	51.8	33.7	4.8	-	-	1.1	5.9	-	97.3
湖陵	81.3	-	-	-	-	-	0.8	10.1	-	92.2
大社	60.5	-	14.4	4.2	-	-	0.3	11.5	-	90.9
斐川	58.3	-	34.4	-	-	0.1	0.5	5.2	-	98.5
整備手法別普及率	49.6	1.1	15.8	1.6	0.04	0.3	2.0	19.2	0.1	89.8

※整備手法別普及率は、出雲市の人口に対する整備手法別供用人口の割合です。

※端数処理の都合上、地域別普及率の横計が一致しない場合があります。

※コミプラ(コミュニティ・プラント)は、住宅団地等に設置される汚水を処理する施設です。

令和4年度末 汚水処理人口普及率（市町村別）



# 下水道施設の維持管理の状況

## ◆集合処理(公営企業会計)

令和5年3月31日現在

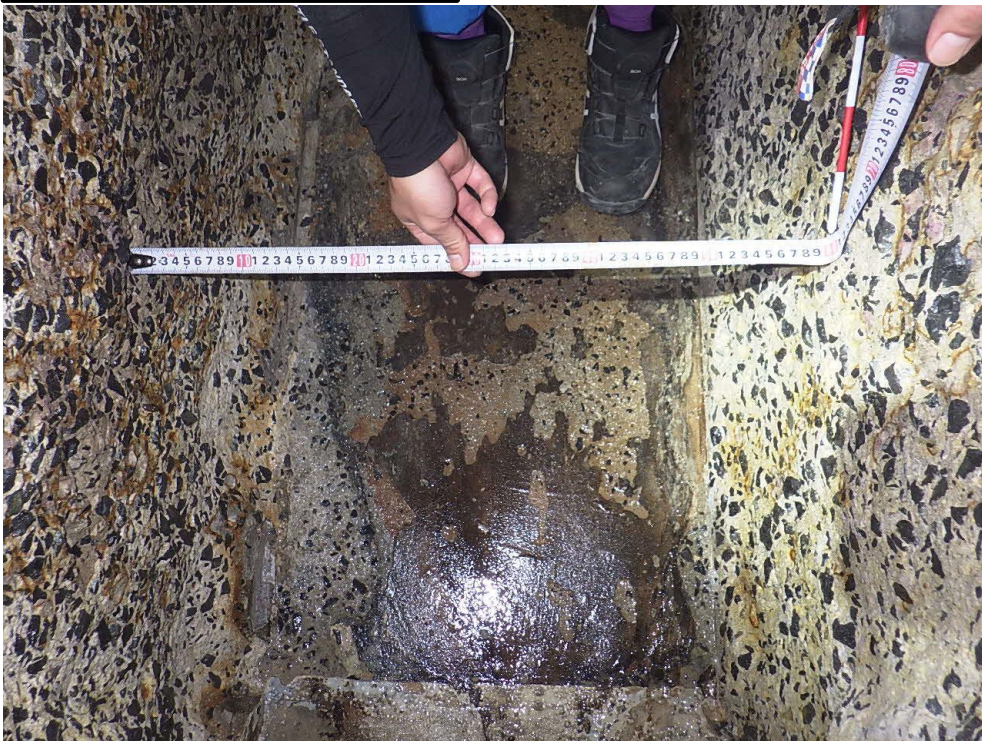
種 別	処理 地区	処理場	ポンプ場	マンホール ポンプ	真空 ステーション	管路延長
公共下水道	5	—	3	154	1	615.6
特定環境保全公共下水道	3	3	—	36	—	28.3
農業集落排水	37	38	—	410	7	513.3
漁業集落排水	11	11	—	67	1	35.1
小規模集合排水	1	1	—	2	—	1.1
<b>計</b>	<b>57 地区</b>	<b>53 施設</b>	<b>3 施設</b>	<b>669 施設</b>	<b>9 施設</b>	<b>1,193.4 km</b>

※真空ステーション:真空式のポンプで汚水を集め、処理場などに送る施設

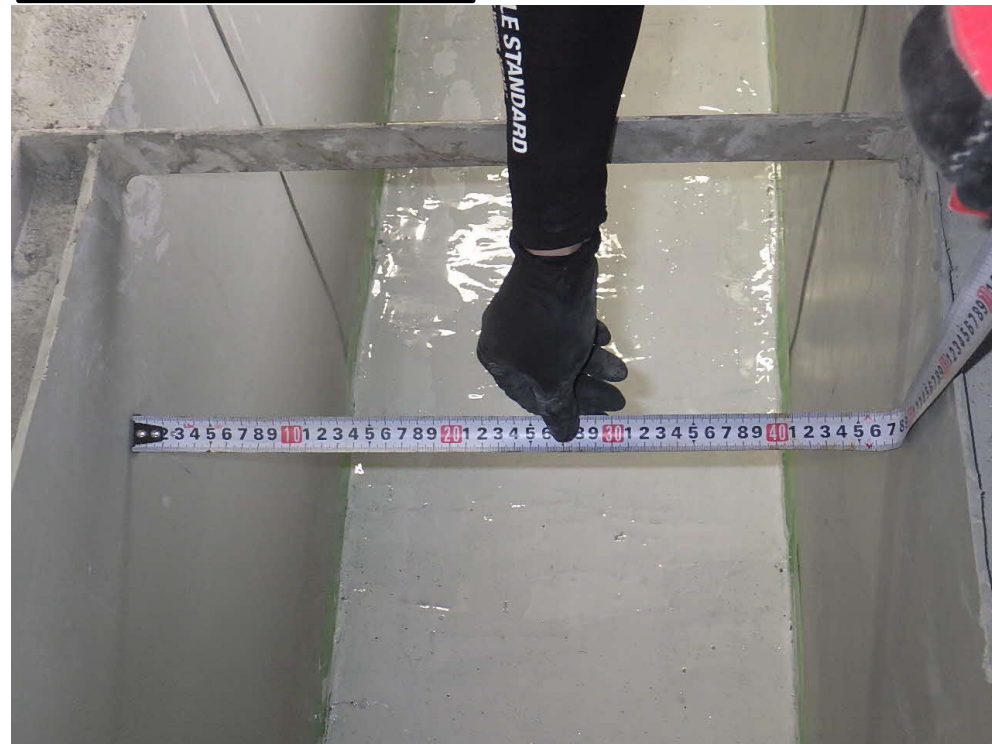
- ・下水道施設の使える年数はおおむね50年
- ・供用開始20年以上の施設の割合は、各施設で60～70%
- ・施設の維持管理に要する費用は、年間15億円～16億円

# ＜施設の老朽化＞ 下水処理場の水路壁のはがれ落ち

修繕前



修繕後





# <施設の老朽化>ポンプ施設のポンプ羽根車のすり減り

修繕前



このまま放っておくと、汚水を送りきれずポンプ施設からあふれるなどの不具合が生じます。

修繕後



# ＜施設の老朽化＞マンホール蓋の腐食

修繕前



修繕後



汚水は、流れている間にだんだん腐っていき、硫化水素と呼ばれるガスを発生させます。このガスによってマンホールの蓋の裏側がさびて腐ったところでは、

# <施設の老朽化> 下水道管のひび割れ

修繕前

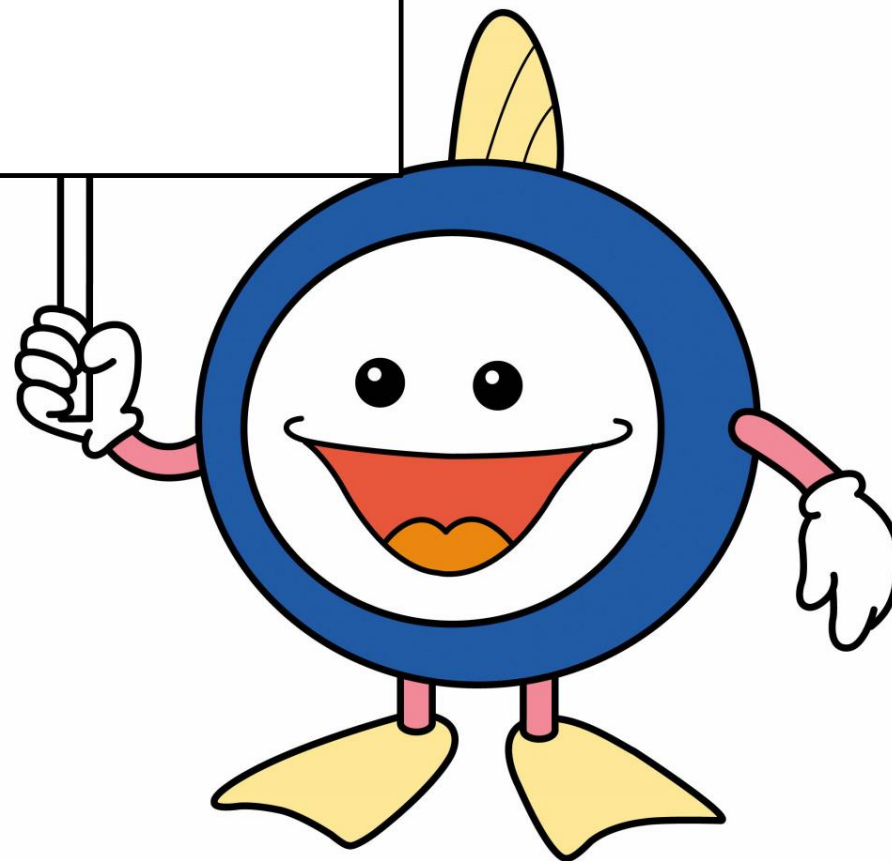


修繕後



下水道管がひび割れ、そこから地下水が浸入しているところです。

# 4. 経営状況



# 出雲市下水道事業の経営戦略（令和4年6月改定）

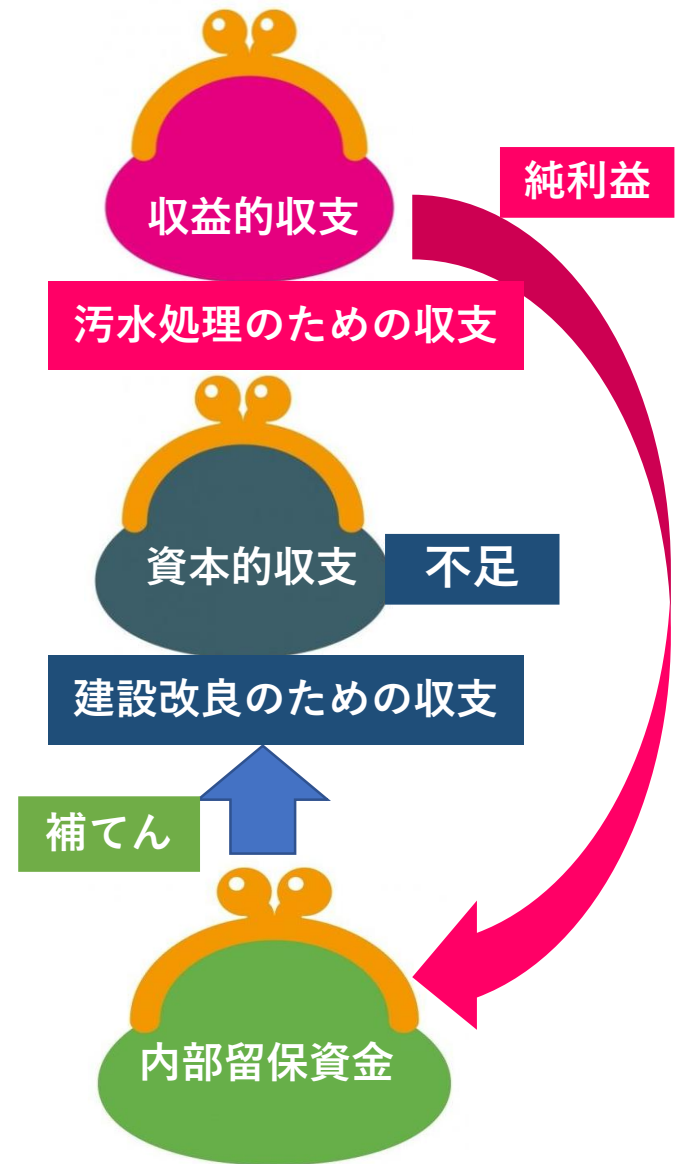
単位：百万円（税抜）

収益的収支	経営戦略の計画期間						
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和14年度
事業収益【経営戦略】	6,233	6,193	6,457	6,515	6,498	6,442	6,206
事業収益【改定なし】	6,233	6,193	6,057	6,029	6,011	5,955	5,718
下水道使用料【経営戦略】	2,087	2,072	2,485	2,598	2,603	2,605	2,613
下水道使用料【改定なし】	① 2,087	2,072	2,085	2,112	2,116	2,118	2,124
他会計負担金	③ 865	810	670	640	622	591	474
長期前受金戻入	3,268	3,298	3,288	3,264	3,260	3,234	3,106
その他	13	13	13	13	13	13	13
事業費用	6,041	5,981	5,935	5,862	5,828	5,759	5,492
維持管理費	1,634	1,626	1,631	1,640	1,657	1,655	1,638
支払利息	717	660	602	505	463	419	271
その他	192	182	181	176	151	138	106
減価償却費	3,498	3,513	3,519	3,540	3,556	3,548	3,477
差引（純利益）【経営戦略】	192	212	522	654	669	684	715
差引（純利益）【改定なし】	② 192	212	122	168	183	196	226

単位：百万円（税込）

資本的収支	経営戦略の計画期間						
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和14年度
収入	6,785	6,573	6,463	5,992	4,353	3,865	2,372
企業債	3,135	3,007	2,929	2,618	1,552	1,292	497
下水道事業債	1,517	1,471	1,453	1,479	584	588	497
資本費平準化債	⑤ 1,618	1,537	1,476	1,140	968	704	0
国県補助金	664	668	670	677	194	176	189
他会計負担金	③ 2,816	2,786	2,752	2,585	2,495	2,337	1,649
その他	171	112	112	112	112	60	38
支出	7,162	7,026	6,978	6,784	5,212	4,984	3,941
建設改良費	④ 2,299	2,233	2,228	2,271	817	818	804
企業債償還金	4,863	4,793	4,750	4,514	4,395	4,166	3,137
差引（収支不足額）	▲ 377	▲ 453	▲ 515	▲ 792	▲ 859	▲ 1,119	▲ 1,569
建設改良分	▲ 116	▲ 140	▲ 142	▲ 131	▲ 43	▲ 95	▲ 114
企業債償還分	▲ 261	▲ 313	▲ 374	▲ 661	▲ 816	▲ 1,024	▲ 1,454

内部留保資金残高【経営戦略】	885	1,061	1,501	2,254	2,434	2,386	990
内部留保資金残高【改定なし】	885	1,061	1,093	861	531	⑥ ▲ 27	▲ 3,466

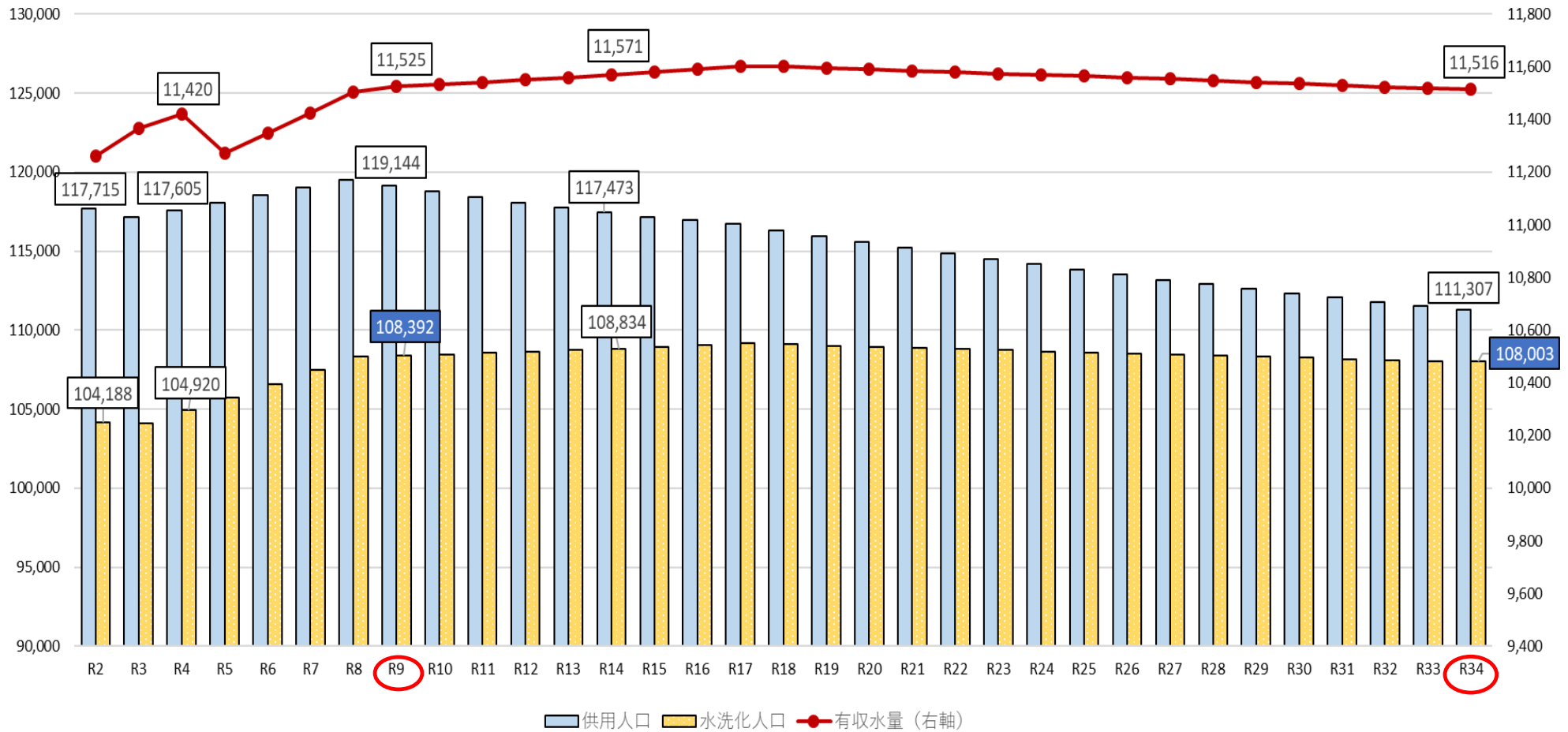


- ① 下水道使用料を改定しない場合、使用料収入の大きな増加は期待できない⇒②純利益が1億円～2億円で推移
- ③ 他会計負担金（一般会計繰入金）は、銀行などからの借入金（企業債）の返済に伴い減少していく見込み。
- ④ 令和8年度までは公共下水道の整備を継続し、令和9年度以降は更新事業が主となる（20億円⇒8億円）
- ⑤ 世代間の利用者負担を平準化する企業債（資本費平準化債）は、令和14年度には新規借入ができなくなる見込み。
- ⑥ 下水道使用料を改定しない場合、事業の運転資金となる内部留保資金は、令和10年度には枯渇し、資金不足となる見込み。

# 水洗化人口と有収水量の推移と将来推計

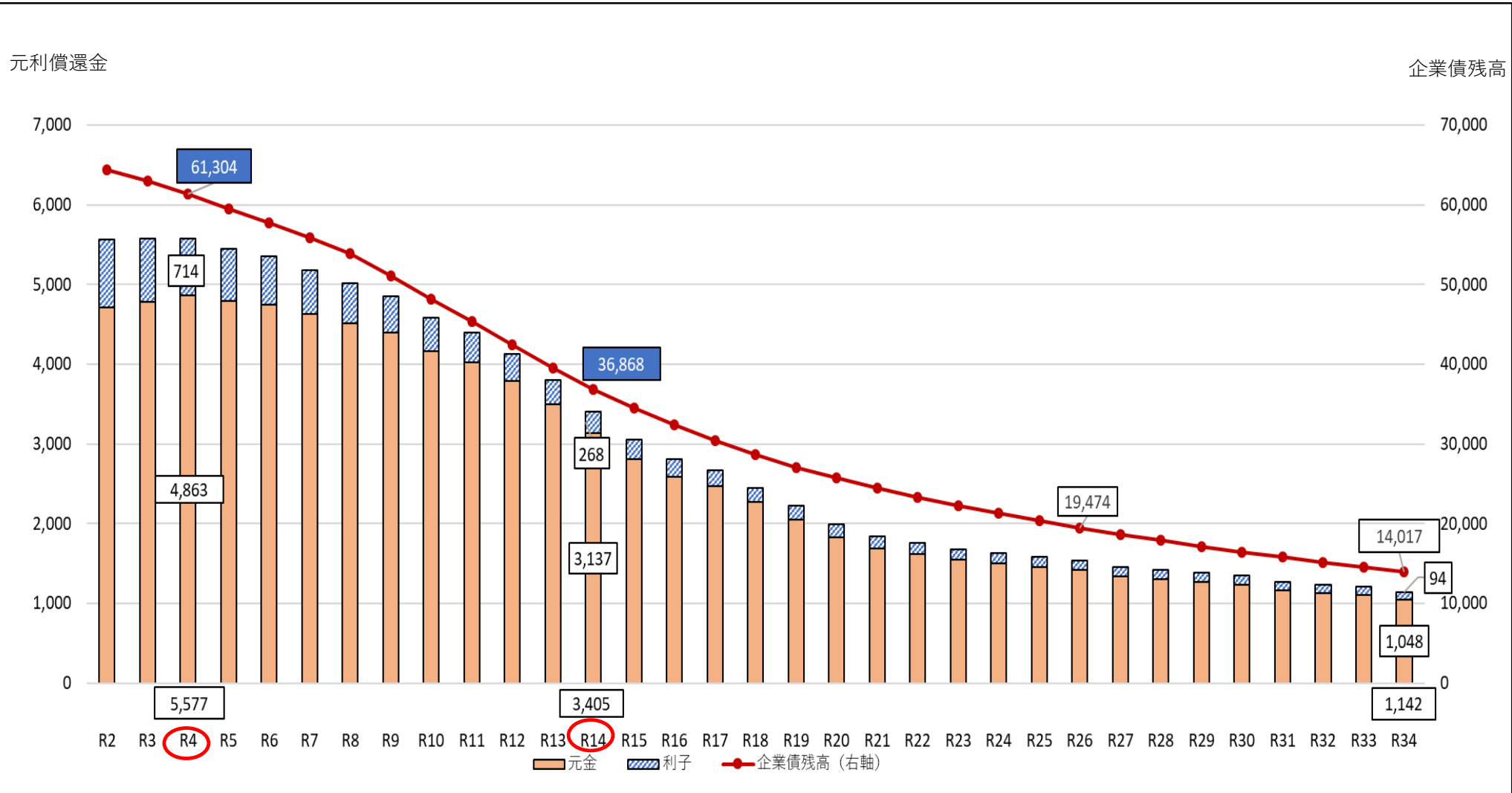
単位：人

単位：千 m<sup>3</sup>



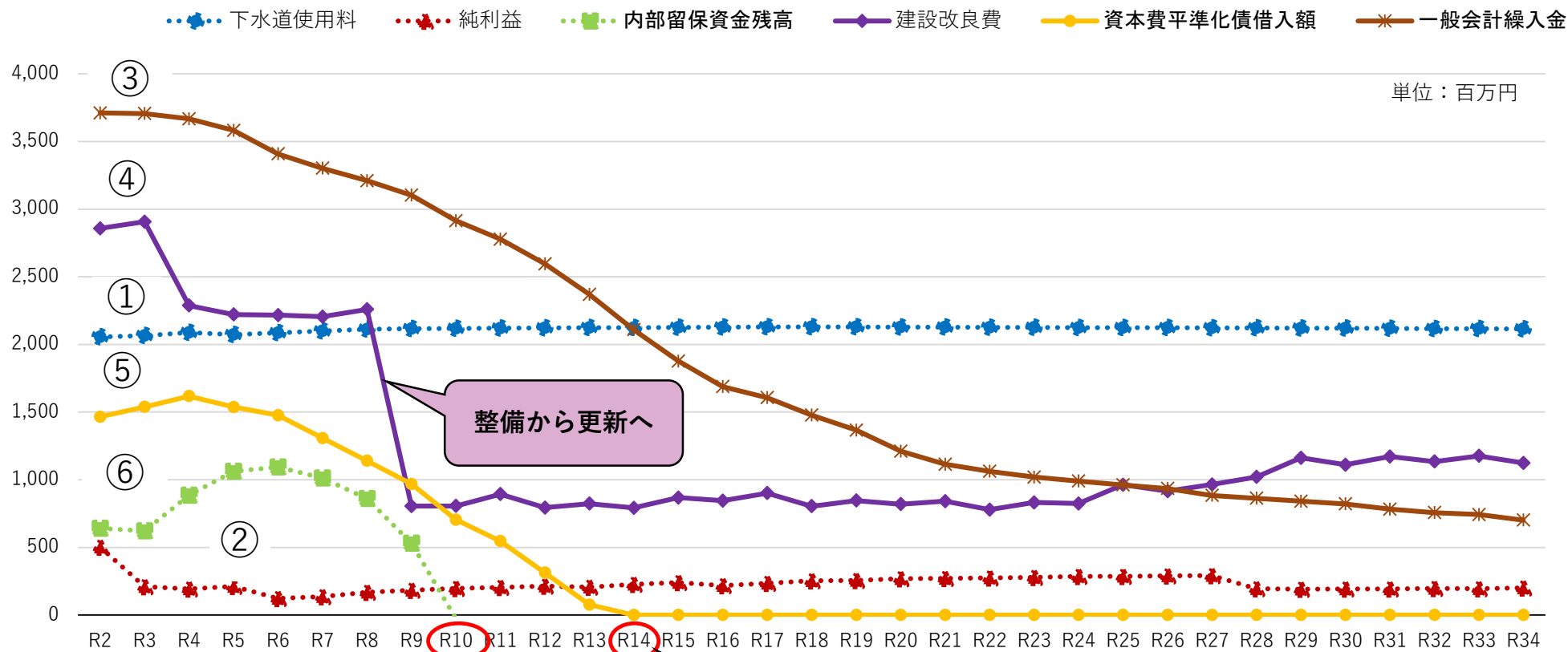
# 企業債残高及び元利償還金の推移（元利別）

単位：百万円



# 各種数値の推移と将来推計＜下水道使用料を改定しない場合＞

- ①下水道使用料を改定しない場合、使用料収入の大きな増加は期待できない⇒②純利益が1億円～2億円で推移
- ③他会計負担金（一般会計繰入金）は、銀行などからの借入金（企業債）の返済に伴い減少していく見込み。
- ④令和8年度までは公共下水道の整備を継続し、令和9年度以降は更新事業が主となる（20億円⇒8億円）
- ⑤世代間の利用者負担を平準化する企業債（資本費平準化債）は、令和14年度には新規借入ができなくなる見込み。
- ⑥下水道使用料を改定しない場合、事業の運転資金となる内部留保資金は、令和10年度には枯渇し、資金不足となる見込み。

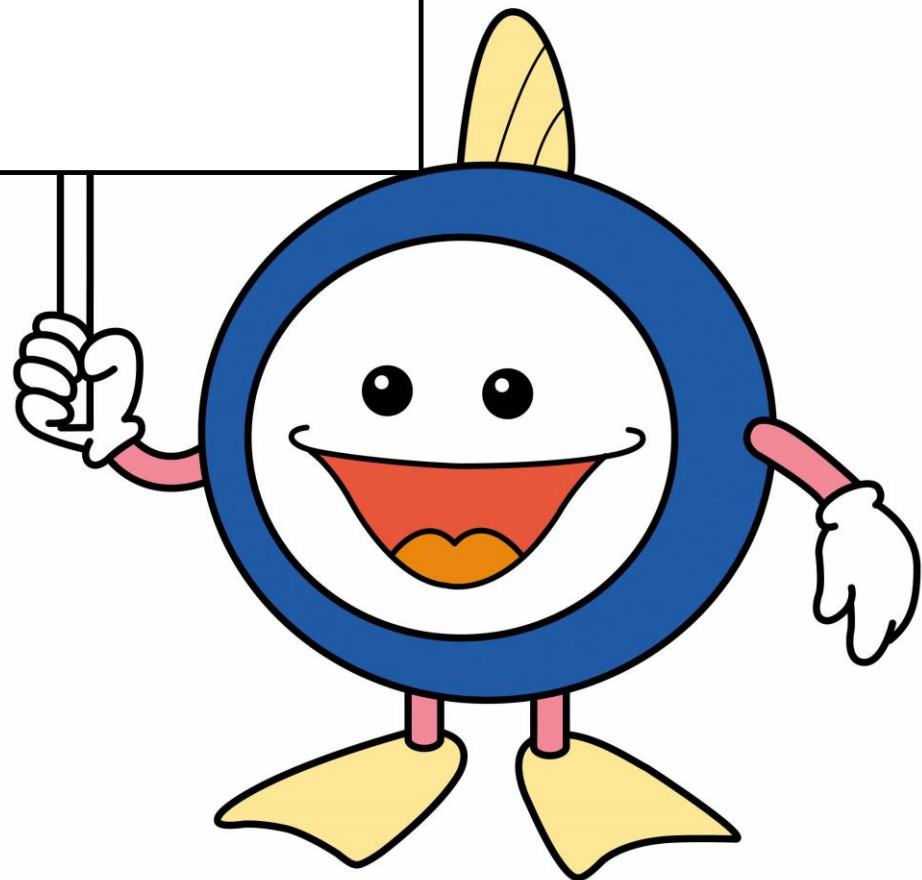


内部留保資金  
枯渇

資本費平準化債  
借入できなくなる



# 5. 使用料改定



# 使用料改定の必要性

- 人口減少や節水型機器の普及による汚水量の減少に伴い、使用料の増収は期待できない状況です。
- 一方、老朽化した施設が改築・更新時期を迎える中、支出は増加し、近い将来資金不足が生じる見通しです。



使用料を改定し、施設の適切な維持管理と経営の安定化、次世代を含めた負担の公平を図ります。

# 下水道使用料の改定内容

## ○改定時期

令和6年4月1日、令和7年4月1日

## ○改定率

18%

急激な負担増とならないよう

令和6年度からの2か年で段階的に改定します。

1年目(令和6年4月1日)の改定率 8%

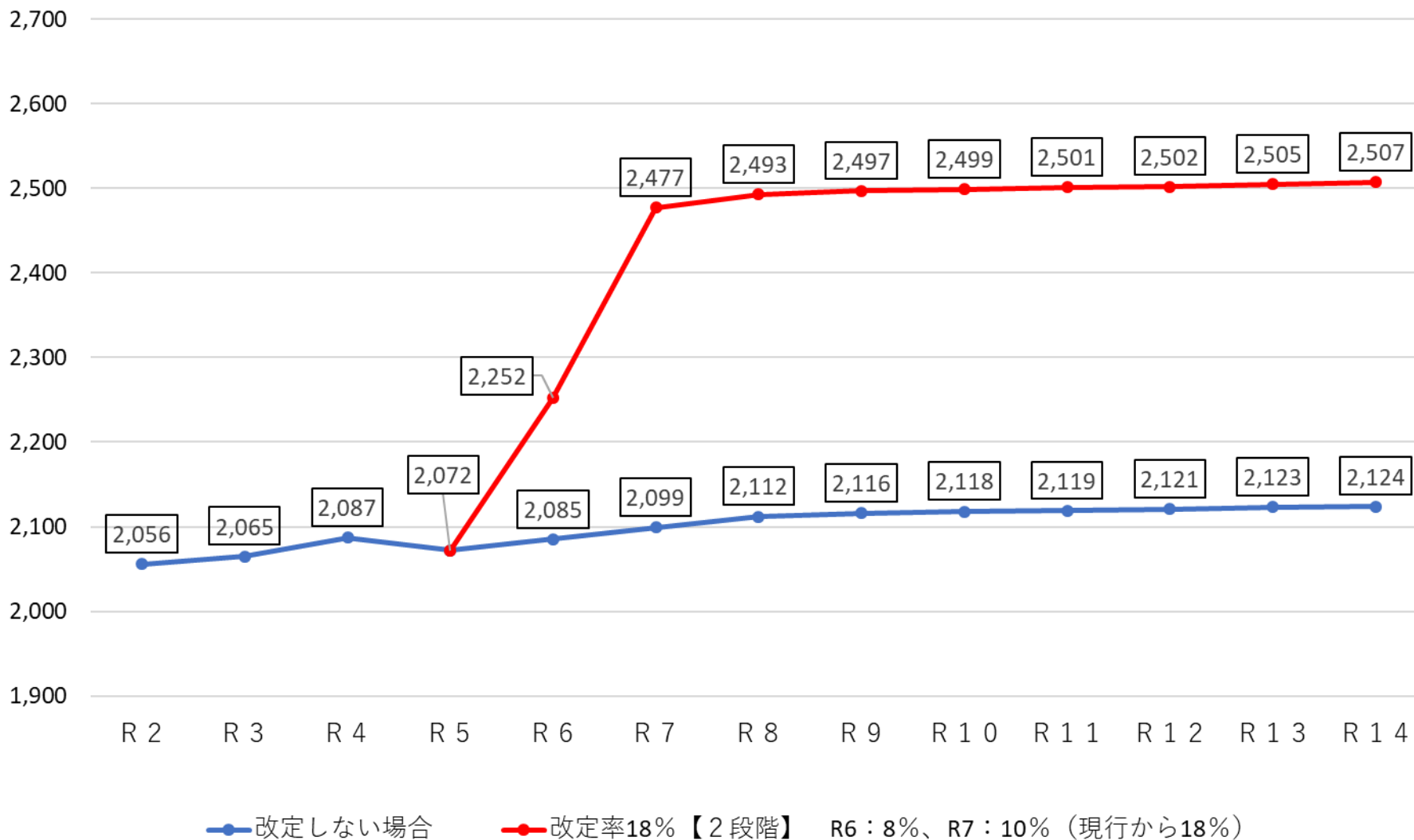
2年目(令和7年4月1日)の改定率 10%(現行から18%)

---

合計 18%

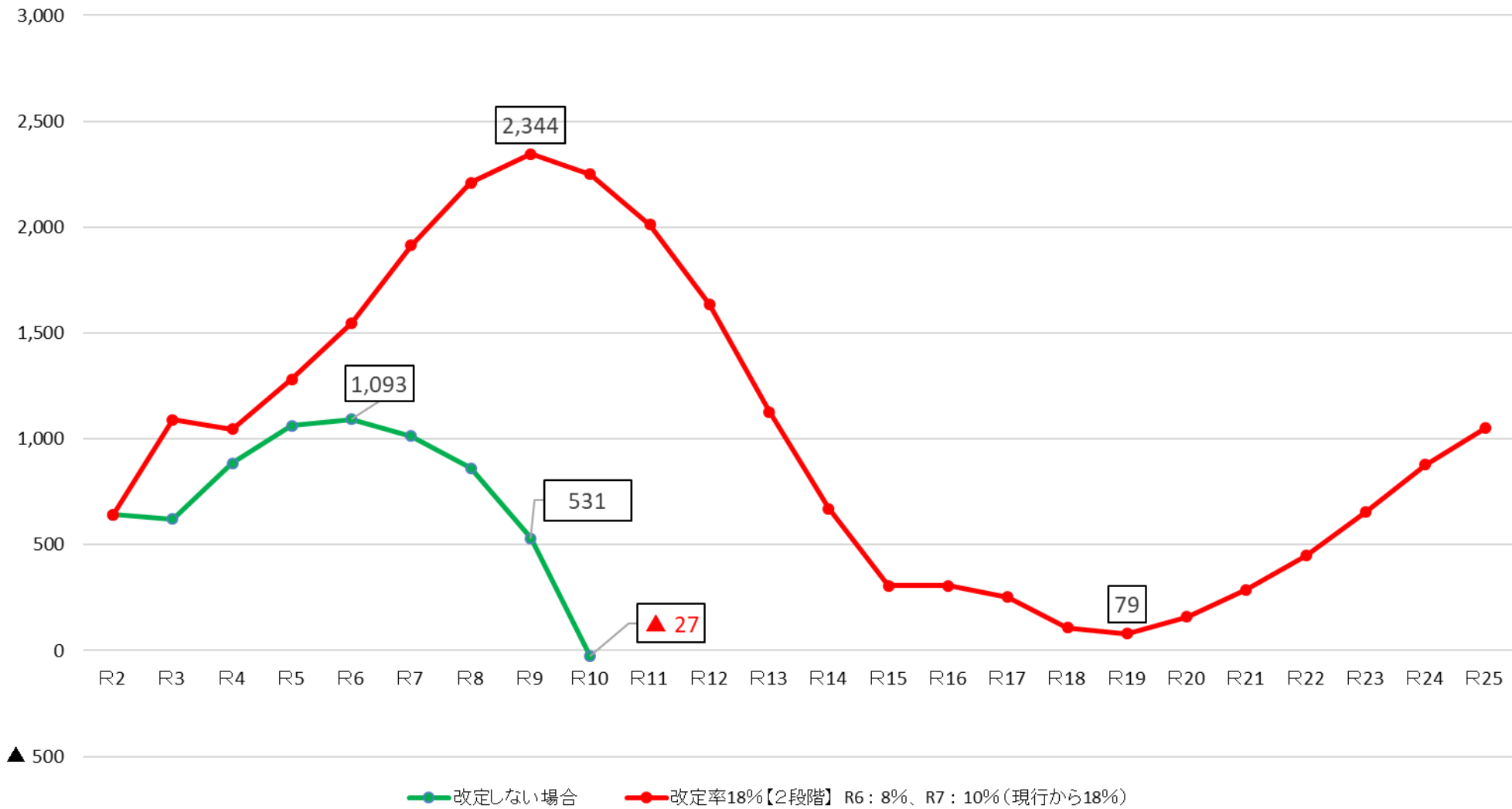
# 下水道使用料の見通し<下水道使用料を改定した場合>

単位:百万円



# 内部留保資金の見通し＜下水道使用料を改定した場合＞

単位：百万円



# 改定後の下水道使用料(1か月あたりの使用料)

従量制(水道メーターで計測)

※消費税込み  
(下段:消費税を除く)

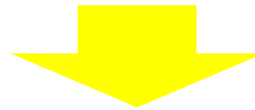
区分(1月につき)	汚水量	使用料(現行)	使用料(R6.4.1~) 改定率8%	使用料(R7.4.1~) 改定率18%
基本料金	0~8m <sup>3</sup>	1,320円 (1,200円)	1,419円 (1,290円)	1,551円 (1,410円)
超過料金 (1m <sup>3</sup> につき)	9~16m <sup>3</sup>	158.4円 (144円)	170.5円 (155円)	185.9円 (169円)
	17~25m <sup>3</sup>	191.4円 (174円)	205.7円 (187円)	225.5円 (205円)
	26~50m <sup>3</sup>	209.0円 (190円)	225.5円 (205円)	246.4円 (224円)
	51~100m <sup>3</sup>	231.0円 (210円)	248.6円 (226円)	271.7円 (247円)
	101~200m <sup>3</sup>	255.2円 (232円)	275.0円 (250円)	300.3円 (273円)
	201~500m <sup>3</sup>	277.2円 (252円)	299.2円 (272円)	326.7円 (297円)
	501m <sup>3</sup> ~	303.6円 (276円)	327.8円 (298円)	357.5円 (325円)

従量制(水道メーターで計測)

2か月で40m<sup>3</sup>の汚水を流した場合の使用料(消費税込み)

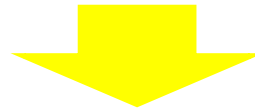
現行

6,704円(1か月あたり3,352円)



令和6年4月1日～(改定率8%)

7,210円(1か月あたり3,605円)



令和7年4月1日～(改定率18%)

7,880円(1か月あたり3,940円)

※消費税込み

使用水量 (1か月あたり)	使用料(現行)	使用料(R6.4.1～) 改定率8%	使用料(R7.4.1～) 改定率18%
8m <sup>3</sup>	1,320円	1,419円	1,551円
現行との差額	1か月	99円	231円
	2か月(検針)	198円	462円
	年間	1,188円	2,772円
16m <sup>3</sup>	2,587円	2,783円	3,038円
現行との差額	1か月	196円	451円
	2か月(検針)	392円	902円
	年間	2,352円	5,412円
20m <sup>3</sup>	3,352円	3,605円	3,940円
現行との差額	1か月	253円	588円
	2か月(検針)	506円	1,176円
	年間	3,036円	7,056円



※消費税込み

使用水量 (1か月あたり)	使用料(現行)	使用料(R6.4.1～) 改定率8%	使用料(R7.4.1～) 改定率18%
50m <sup>3</sup>	9,534円	10,271円	11,227円
現行との差額	1か月	737円	1,693円
	2か月(検針)	1,474円	3,386円
	年間	8,844円	20,316円
100m <sup>3</sup>	21,084円	22,701円	24,812円
現行との差額	1か月	1,617円	3,728円
	2か月(検針)	3,234円	7,456円
	年間	19,404円	44,736円
500m <sup>3</sup>	129,764円	139,961円	152,852円
現行との差額	1か月	10,197円	23,088円
	2か月(検針)	20,394円	46,176円
	年間	122,364円	277,056円

## 改定後の下水道使用料(1か月あたりの使用料)

人数制(水道メーターで計測しない場合)※主に「井戸水」を使用している場合

世帯区分	使用料(現行)	使用料(R6.4.1～) 改定率8%	使用料(R7.4.1～) 改定率18%
1人世帯	1,986円	2,134円	2,343円
2人世帯	3,163円	3,410円	3,729円
3人世帯	4,341円	4,686円	5,115円
4人世帯	5,518円	5,951円	6,501円
5人世帯	6,696円	7,227円	7,898円
6人世帯	7,873円	8,492円	9,284円
7人以上世帯	9,051円	9,768円	10,670円

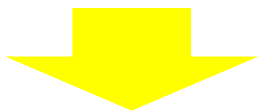
※消費税込み

人数制(水道メーターで計測しない場合)※主に「井戸水」を使用している場合

世帯区分が2人世帯の2か月の使用料(消費税込み)

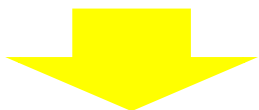
現行

6,326円(1か月あたり3,163円)



令和6年4月1日～(改定率8%)

6,820円(1か月あたり3,410円)



令和7年4月1日～(改定率18%)

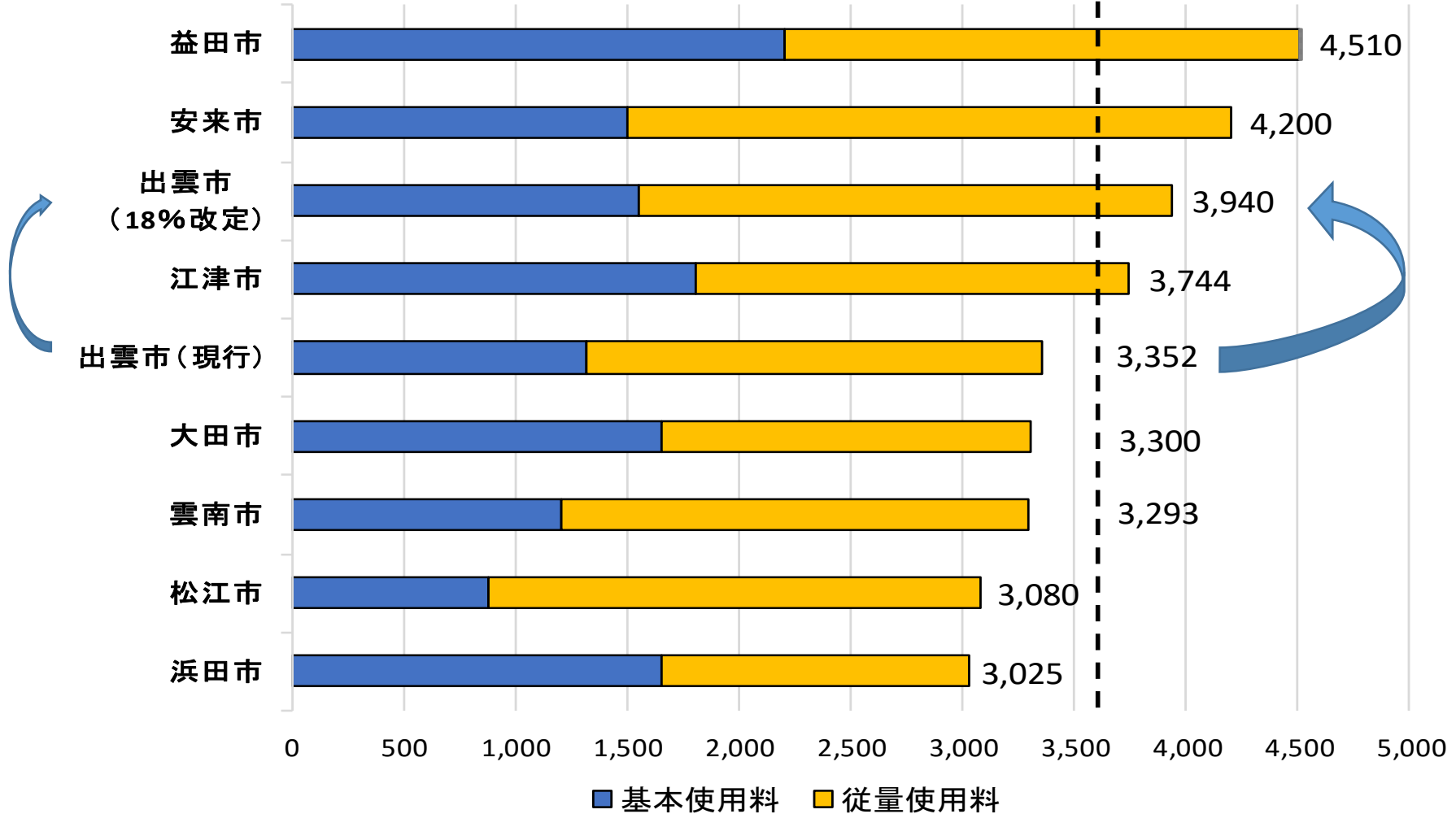
7,458円(1か月あたり3,729円)

# 島根県内8市の下水道使用料（従量制）比較グラフ

(単位:円、税込)

- ・令和5年4月1日現在
- ・1か月20m<sup>3</sup>使用した場合の下水道使用料

県内8市平均  
3,637円



# 県内8市等水道料金・下水道使用料比較

令和5年4月1日時点 (現行)						
(単位:円、税込)						
事業体	水道・下水道 合計		水道料金 口径13~25mm 1か月20m <sup>3</sup>		下水道使用料 1か月20m <sup>3</sup>	
	順位	現行	順位	現行	順位	現行
出雲市	6	6,682	8	3,330	4	3,352
斐川央道 水道企業 団	9	6,049	9	2,697		
松江市	7	6,677	4	3,597	7	3,080
浜田市	8	6,534	6	3,509	8	3,025
益田市	3	7,986	7	3,476	1	4,510
大田市	2	8,305	1	5,005	5	3,300
安来市	4	7,715	5	3,515	2	4,200
江津市	1	8,551	2	4,807	3	3,744
雲南市	5	7,273	3	3,980	6	3,293

⇒

令和7年4月1日時点 (出雲市18%改定)				
(単位:円、税込)				
事業体	下水道使用料 1か月20m <sup>3</sup>		水道・下水道 合計	
	順位	改定後	順位	改定後
出雲市	3	3,940	6	7,270
斐川央道 水道企業 団			8	6,637
松江市	7	3,080	7	6,677
浜田市	8	3,025	9	6,534
益田市	1	4,510	3	7,986
大田市	5	3,300	2	8,305
安来市	2	4,200	4	7,715
江津市	4	3,744	1	8,551
雲南市	6	3,293	5	7,273

# 使用料改定の時期(令和6年4月1日からの適用)

○令和6年3月31日以前から継続してご使用の方

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
偶数月 検針地区	検針		検針		検針		検針	
	旧使用料		新使用料			新使用料		
		支払月		支払月		支払月		

旧使用料で請求 (4月)

新使用料で請求 (6月)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
奇数月 検針地区		検針		検針		検針	
	旧使用料	旧使用料		新使用料		新使用料	
	支払月		支払月		支払月		支払月

旧使用料で請求 (4月)

新使用料で請求 (7月)

# 使用料改定の時期(令和6年4月1日からの適用)

○令和6年4月1日以降に使用開始された方

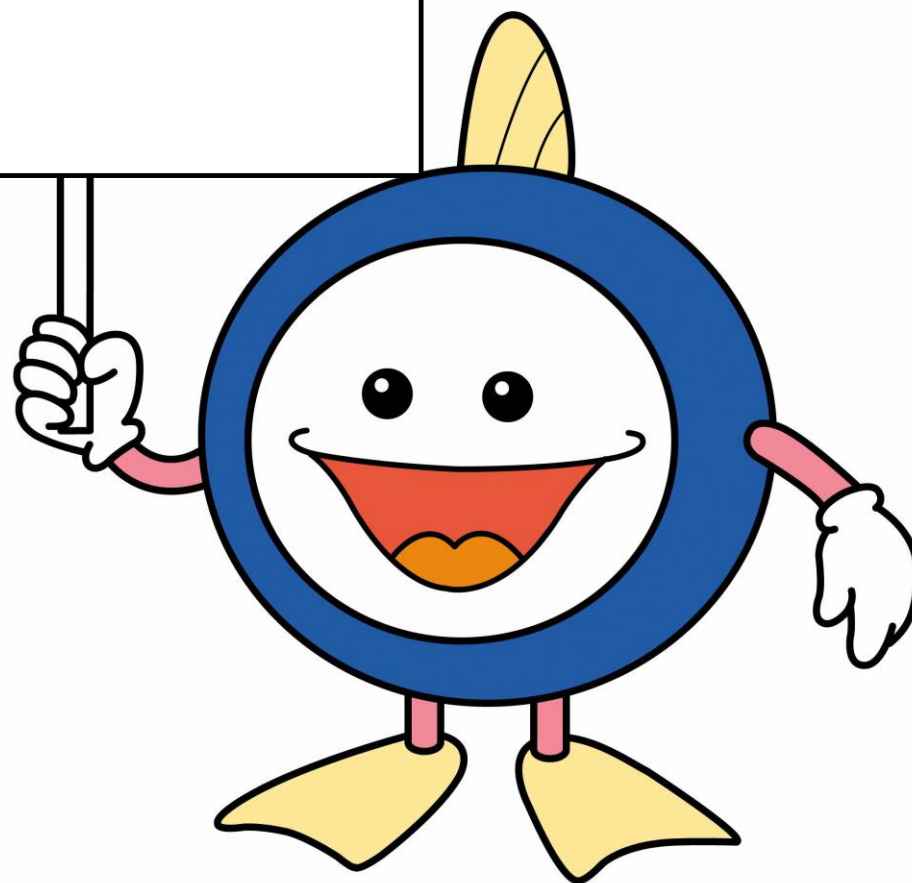
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
偶数月 検針地区			使用開始 <b>検針</b>		検針		検針
			新使用料	新使用料		新使用料	
				支払月		支払月	

新使用料で請求

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
奇数月 検針地区			使用開始	<b>検針</b>		検針	
			新使用料		新使用料		新使用料
					支払月		支払月

新使用料で請求

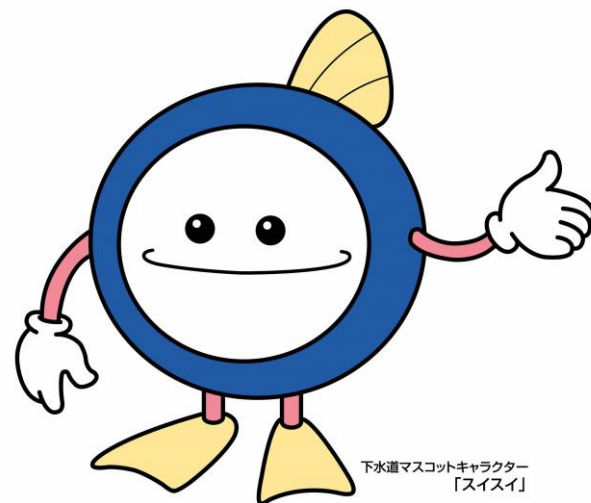
# 6. おわりに





今後も、下水道事業の健全な経営に努め、適切な下水道使用料となるよう運営を行ってまいります。

皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



下水道マスコットキャラクター  
「スイスイ」